

歯科保健のつどい



みんなで考えよう、
歯と健康のこと。

平成27年 11月29日(日)

13:00~15:00

かいてらす(山梨県地場産業センター)

主催

山梨県

山梨県歯科医師会

共催

山梨県歯科衛生専門学校
山梨県栄養士会

山梨県歯科衛生士会

山梨県歯科技工士会

後援

甲府市
山梨県医師会
山梨県老人クラブ連合会
健やか山梨 21 推進会議
朝日新聞甲府総局
産経新聞甲府支局
テレビ山梨
山梨新報社

山梨県教育委員会
山梨県薬剤師会
山梨県愛育連合会
山梨県歯科用品組合
毎日新聞甲府支局
NHK 甲府放送局
エフエム富士
株式会社日本ネットワークサービス

日本歯科医師会
山梨県看護協会
山梨県食生活改善推進員連絡協議会
山梨日日新聞社
読売新聞甲府支局
山梨放送
エフエム甲府

協力

にらさき秀丽

協賛

ライオン株式会社
小林製薬株式会社

株式会社ロッテ
アサヒブリテック株式会社

サンスター株式会社

ね ら い

我が国は超高齢社会を迎え、国民の健康に対する関心は一層高まりつつあります。その中、歯・口の健康は、人々が生涯を通じて、健やかで心豊かな生きがいのある生活をおくるとい生活の質（クオリティー・オブ・ライフ）の向上にとって、必要不可欠なものであります。

「8020」を達成するためには、県民一人ひとりが「自分自身の歯・口の健康は自分で守る」ことを実践するとともに、住民主体の歯科保健活動や歯科医療関係者による、生涯を通じた歯科保健活動の一層の充実と更なる展開が望まれています。

第32回山梨県民歯科保健のつどいは、県民と歯科医療関係者が垣根を乗り越え共通の認識のうえにたち、共に作り上げるといコンセプトで企画いたしました。また各団体に御協力を頂きながら横断的な連携のもと「8020運動」の推進に手を取り合って積極的に取り組むことを目的としています。

式典では、「8020運動」を実践している方々の表彰を行います。

アトラクションでは韮崎市を拠点として活動をしている『にらさき秀丽』による“よさこい踊り”を予定しています。

是非この機会に参加者各自がご自身の健康について見つめなおしていただき、健康長寿社会をめざした8020達成の意義について、意識を高めていただけると幸いです。



日 程

12:00	受 付 (表彰者・達成者 写真撮影)
13:00	式 典
	開 会 山梨県歯科医師会副会長 一瀬 秀文
	主催者挨拶 山梨県知事 後藤 齋 山梨県歯科医師会会長 井出 公一
	来賓挨拶
	来賓紹介
	祝電披露
13:20	歯科保健優良表彰
	○「平成27年度山梨県歯科保健功労者」表彰
	○「第29回山梨県高齢者よい歯のコンクール」入賞者
	○「第12回山梨県歯っぴい山梨8020達成者表彰」認定式 夫婦特別表彰
	謝辞
	○「平成27年度歯科保健文化賞」表彰
	○「歯と口の健康週間」図画・ポスター・標語コンクール入賞者
	○大会宣言 山梨県歯科医師会公衆衛生・産業歯科委員会 齊藤 秀樹
14:20	式典閉会 山梨県歯科医師会副会長 保坂 裕幸
14:20 (閉会后)	アトラクション 『にらさき秀麗』
	○展示コーナー (一例) ・図画・ポスター・標語 展示コーナー ・歯°しゃ歯°しゃ写メコンテストコーナー

ごあいさつ



山梨県知事
後藤 斎

「第32回山梨県民歯科保健のつどい」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

山梨県歯科医師会をはじめとする歯科保健関係者、関係団体の皆様には、日頃から本県の歯科保健の推進にご理解・ご協力をいただき心からお礼申し上げます。

さて、近年、歯・口の健康に関する認識が益々高まり、全身の健康に及ぼす影響の大きさなど、様々な情報が発信されております。

本県においても、口腔の健康の保持・増進をととして全ての県民が心身ともに健やかで心豊かな生活ができる社会の実現を目指すため、「山梨県口腔の健康づくり推進計画」を平成26年3月に策定し、取組の推進を図っているところです。

過日11月7日(土)には、全国から歯科保健医療関係者が一堂に会し、歯科保健の一層の推進を図ることを目的とする全国歯科保健大会が本県において盛大かつ成功裏に開催されました。

大会では「健康に老いること」に着目し、歯科保健が果たす役割について様々な講演等が行われましたが、歯科保健の重要性について認識を新たにするとともに、取組の更なる推進の必要性を感じたところです。

本県は美しい山岳をはじめ、緑豊かな大地に恵まれ、高齢になってからも自然と調和し癒やされながら生き活きと暮らしやすい環境にあります。しかしながら、一方で、県民の歩く歩数が全国平均より少ないことや塩分摂取量の多さなど、健康に老いるための取組の必要性

も課題となっております。

現在、国では、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症及び重症化予防の推進をととして、国民の健康増進を図り、健康で生き活きとした高齢社会を構築することを目指しています。

歯・口の健康は、食べること、話すこと、笑うことなどに直結しますが、糖尿病等の生活習慣病の重症化予防や誤嚥性肺炎、その他の疾患予防に繋がるなど、全身の健康管理にも大いに関係し、生き活きと心豊かに生活するために大切な健康課題です。

本日の「つどい」では、歯科保健に関する表彰等が行われますが、受賞者の皆様に心から御祝い申し上げますとともに、歯科保健の推進に日々取り組んでいただいている皆様に改めて敬意を表します。

本日の催しをきっかけとして、一人でも多くの県民の皆様が歯・口の健康についての関心を高め、歯科保健の推進が一層図られることを祈念し、挨拶いたします。

ごあいさつ



一般社団法人山梨県歯科医師会会長

井出 公一

本日、かいてらす(山梨県地場産業センター)におきまして山梨県と山梨県歯科医師会の主催による「第32回山梨県民歯科保健のつどい」が開催されるにあたり、日頃より県民の皆様をはじめに関係者並びに歯科関係団体及び多くの後援団体のご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年は、全国歯科保健大会が別日程にて開催されたために、例年と異なったプログラムにてつどいが開催される運びとなりました。

さて、私共は、県民の生涯を通じた歯と口の健康づくりを推進するために、地域に根ざした「8020運動」(80歳で20本の歯を維持する)事業を行ってきました。今回は、第一部の式典において、その運動の一環として県内児童生徒の図画・ポスター・標語などの展示や歯の健康な高齢者の表彰など行っております。その後、第二部にアトラクションを行い、和んでもらおうと企画させていただきました。ぜひ、最後まで楽しんでください。

現在、わが国は超高齢社会を迎え、高齢者人口は平成25年の推計で65歳以上の3,186万人で、総人口における割合は約25%となっており、4人に1人が高齢者となり、漸次上昇を続け、平成47年には約34%となり、3人に1人が高齢者となると見込まれています。厳しい社会情勢ではございますが、各自が可能な限り健康であること、社会保障制度の充実した社会づくりが重要になってきます。そこで、健康長寿社会を実現して、ご高齢の方々がいままで健康で人間らしく生活を営んでいくためには、食べ物を美味しく味わい、よく噛み、家族や

友達、知人の人々と楽しく団らんしながら食事を楽しむことと密接に関係していることが知られています。そのためには、まずお口の健康を保つことが第一です。さらに近年の調査により全身疾患と考えられていた動脈硬化症や糖尿病などの生活習慣病にも歯周病や虫歯などが深く関係していて、口腔内の環境を整えることでこれらの疾患の改善に貢献することができることが分かってきました。

本日表彰を受けられる高齢者よい歯のコンクールならびに8020達成者の皆様方は、それぞれ永年にわたり口腔ケアを実践され、歯と口腔の模範となられる立派な方々であります。県民の皆様方におかれましても、自分のお口の中について少しでも関心をお持ちいただき、日頃の歯のお手入れだけでなく、かかりつけ歯科医を持ち、定期健診や予防処置を受けることと、より自分にあつた歯と口腔の保健指導を受けることが、楽しく健康な人生をおくるために必要なことと気づいて頂けると誠に幸いです。

「歯科保健のつどい」を通して、多くの県民の皆様方に歯科保健に関わってきた方々の熱意と情熱が伝わり、山梨県の歯科保健事業の更なるステップになることを祈念して挨拶いたします。

平成27年度 山梨県歯科保健功労者表彰



歯科医師 吉田 英二

略 歴

昭和 57 年 3 月	日本歯科大学卒業
昭和 61 年 10 月～現在	甲州市勝沼町小佐手 吉田歯科医院開業
平成 2 年 4 月～現在	甲州市立東雲保育所歯科園医
平成 7 年 4 月～平成 11 年 3 月	山梨県歯科医師会公衆衛生部委員会委員
平成 8 年 4 月～現在	甲州市立勝沼小学校歯科校医
平成 11 年 4 月～平成 13 年 3 月	山梨県歯科医師会福祉厚生部委員会委員
平成 15 年 4 月～平成 19 年 3 月	山梨県歯科医師会地域保健部公衆衛生委員会委員長
平成 19 年 4 月～現在	山梨県歯科医師会理事
平成 23 年 4 月～現在	山梨県8020運動推進特別事業検討評価委員会委員
平成 23 年 4 月～現在	健やか山梨21推進会議推進部会委員
平成 23 年 4 月～現在	山梨県学校・地域保健連携推進事業連絡協議会委員
平成 24 年 4 月～現在	山梨県地域職域保健連携推進協議会委員
平成 26 年 6 月～現在	山梨県口腔の健康づくり推進協議会委員

功績概要

1 地域歯科保健・医療に関する功績

昭和61年10月に甲州市勝沼町小佐手に吉田歯科医院を開業し、以来30年余りの長きにわたり患者には常に誠意をもって施術にあたるとともに、口腔保健の大切さ、取りわけ心身の健康保持・増進にとっての基本であることを説き、地域住民の健康管理に意を尽くし、歯科保健の普及啓発に努めている。

また、甲州市立東雲保育所の歯科園医、並びに勝沼小学校の歯科校医として豊かな経験と高度な専門的知識をもって、成長期にある児童生徒の歯科保健、歯科相談を実践し、学校歯科保健の向上に尽くされている。

一方、本県における休日救急歯科診療事業の当番医として、山梨口腔保健センターでの休日及び年末年始に救急で来られる患者の歯科治療を実践されている。

2 山梨県歯科医師会役員としての功績

平成19年4月から県歯科医師会理事として、各市町村において乳幼児、母子、成人歯科保健事業を積極的に推進し、指導的な役割を担っている。

また、山梨県8020運動推進特別事業検討評価委員会委員、山梨県口腔の健康づくり推進協議会委員などの数々の県行政の協議会に携わり、保健衛生及び福祉の向上に貢献されている。

平成27年度 山梨県歯科保健功労者表彰



歯科技工士 標 義 也

略 歴

昭和 54 年 4 月～平成 元 年 3 月

甲府市青沼 芦沢歯科医院 勤務

ポストグラジュエートセンター勤務

平成 元 年 5 月～現在

山梨県甲府市大里町 シメギ歯科技工所
所長

功績概要

1 地域歯科保健に関する功績

本県に歯科技工所を平成元年に開設し、平成15年から「山梨県歯科保健のつどい」の運営委員に加わり、その企画・立案に積極的に取り組んだ。

特に自ら担当する来場者の塗り絵コーナーではその才能を発揮し、経年的な多くの参加者の来場に繋がるなど、県民への歯科保健の普及啓発に大きく貢献した。

2 歯科技工士会会員としての功績

技工所開設当初から技工士会の活動に積極的に参加し、平成24年の技工士会常務理事就任以降は、技工士会の運営に関わり、若手技工士の技術向上並びに歯科専門職としての意識改革に取り組んだ。

取組の成果として、多くの会員の「山梨県民歯科保健のつどい」への参加協力、及び、県歯科医師会、県歯科衛生士会との事業協力を繋いだ。

現在も地域歯科保健役員を担い、また常務理事として会員に指導的な役割を担い、本会の発展に尽力している。



歯科衛生士 大塩 さかえ

略 歴

昭和 53 年 4 月～昭和 57 年 5 月

昭和 57 年 7 月～昭和 58 年 7 月

平成 12 年 4 月～現在

平成 17 年 4 月～現在

平成 22 年 4 月～現在

開業歯科医院勤務

病院内歯科勤務

甲府市歯科保健事業に従事

北杜市・南アルプス市歯科保健事業に従事

富士川町歯科保健事業に従事

功績概要

在宅歯科衛生士として、育児のかたわら各市町村で行われている歯科保健事業に従事し保健指導を通じて乳幼児から高齢者までの地域住民の健康づくりに努めてきた。また、山梨県歯科衛生士会の地域歯科保健部理事に就任後は意欲的にイベント等に参加し活躍された。高齢者への歯科保健では、市や社会福祉協議会の事業に積極的に参加し口腔ケアの指導を行い多くの高齢者が生き生きとした生活をおくるための手助けとなるように努めている。

第29回 山梨県高齢者よい歯のコンクール

今年で29回を迎える「高齢者よい歯のコンクール」は、平成27年3月31日現在で70歳以上になっている人（昭和20年3月31日以前に生まれた人）を対象にしています。

選考方法は応募者（自薦・他薦を問いません）をハガキで募り、最寄の歯科医院にて健診を行います。

その健診をもとに第一次審査（書類選考）を行います。

第一次審査を通過した方は第二次審査にて健診・面接を行い、その結果受賞者が決定され、今回の『第32回山梨県民歯科保健のつどい』にて表彰されます。

表彰は、70～74歳・75～79歳・80歳以上のそれぞれの部門において最優秀賞・優秀賞（山梨県知事賞）・山梨県歯科医師会会長賞・奨励賞として表彰し記念品を授与いたします。

さて、その目的ですが、高齢化社会が進むなか、全ての人が生涯を通じて健康で、健やかに老いるという生活の質（QOL）の向上に必要不可欠な口腔の健康に努力してきた皆様を表彰し、口腔の健康の大切さを啓発することにあります。

これからも多くの方々の参加を希望いたします。





80 歳以上の部



田辺 美枝子
昭和 9 年 (山梨市)

75 ~ 79 歳の部



金丸 庸子
昭和 14 年 (甲斐市)

70 ~ 74 歳の部



加藤 光子
昭和 15 年 (甲府市)



80 歳以上の部



前島 とし子
昭和 7 年 (甲府市)



松井 浩男
昭和 10 年 (甲府市)

75 ~ 79 歳の部



石井 重子
昭和 13 年 (甲府市)



中澤 勝恵
昭和 13 年 (甲府市)

70 ~ 74 歳の部



松本 二郎
昭和 16 年 (北杜市)



森山 秀昭
昭和 19 年 (上野原市)



80 歳以上の部



飯野 和美
昭和 9 年 (南アルプス市)



金子 満寿子
昭和 7 年 (甲州市)

75 ~ 79 歳の部



小倉 勲
昭和 10 年 (甲斐市)



田中 寛
昭和 12 年 (甲斐市)

75 ~ 79 歳の部



藤原 定幸
昭和 13 年 (北杜市)

70 ~ 74 歳の部



小林 良幸
昭和 17 年 (笛吹市)



篠原 章子
昭和 18 年 (甲府市)

※表彰部門ごと五十音順にて掲載

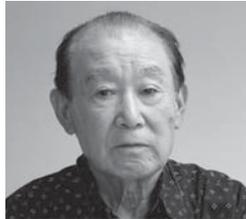
第29回 山梨県高齢者よい歯のコンクール



80 歳以上の部



窪川 勝
大正 11 年 (山梨市)



小林 武次
昭和 9 年 (甲斐市)



小林 只典
昭和 9 年 (身延町)



中沢 寿恵香
昭和 9 年 (甲府市)

80 歳以上の部



永田 政子
昭和 10 年 (甲府市)



藤巻 三男
昭和 9 年 (甲府市)



堀口 和彦
昭和 9 年 (中央市)



松土 幸夫
昭和 9 年 (甲府市)



丸山 則秋
大正 12 年 (甲府市)

80 歳以上の部



宮田 勇
昭和 7 年 (甲府市)



伊藤 よし子
昭和 11 年 (甲府市)



小倉 清美
昭和 15 年 (甲斐市)



橘田 弘子
昭和 12 年 (韭崎町)



古賀 正道
昭和 11 年 (甲府市)

75 ~ 79 歳の部

75 ~ 79 歳の部



齊藤 保雄
昭和 14 年 (山梨市)



佐藤 七郎
昭和 14 年 (甲斐市)



手島 勇
昭和 10 年 (山梨市)



秦 伸一郎
昭和 14 年 (上野原市)



岡部 浩子
昭和 16 年 (甲府市)

70 ~ 74 歳の部

70 ~ 74 歳の部



柿嵐 政勝
昭和 15 年 (甲府市)



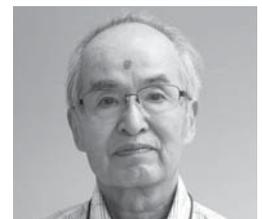
柿嵐 安子
昭和 16 年 (甲府市)



小宮山 英明
昭和 17 年 (甲斐市)



小山 淑子
昭和 19 年 (甲斐市)



椎名 慎太郎
昭和 15 年 (甲府市)

70～74歳の部



砂田 あい子
昭和16年(甲斐市)



曾根 フク江
昭和20年(甲府市)



曾根 正昭
昭和18年(甲府市)



早川 満
昭和19年(甲斐市)



山田 久子
昭和18年(笛吹市)

70～74歳の部



山中 健宏
昭和16年(北杜市)



ご当地よ坊さん：山梨県

第12回 歯っぴい山梨8020 達成者

青木 喜代子	久保田 和夫	戸倉 育子	平出 恭子	水谷 香代子
網野 隆	久保田 富子	内藤 高明	廣瀬 勝子	三井 正一
有泉 節子	倉島 脩二	内藤 静子	廣瀬 房子	宮田 勇
飯野 和美	小泉 なるみ	内藤 春江	広瀬 保民	村田 弘子
伊東 小夜子	高知 佐和子	中沢 寿恵香	廣田 昭子	望月 邦子
梅林 はなの	小林 昭夫	中澤 昌子	深沢 なが子	柳田 悦子
遠藤 和市	小林 家子	永田 政子	深沢 和歳	山口 一二美
大沢 正徳	小林 武次	中野 布久次	藤巻 三男	山下 竹三
岡田 厚子	小林 只典	中村 朝臣	藤本 京子	山田 治洋
岡田 守	小柳 實枝	中村 かつ子	藤本 美太	横内 恭子
荻原 道子	斉藤 圭子	中村 茂之	古屋 正吾	吉良 信一
奥井 夏子	斉藤 哲三	成島 玖美子	古屋 八ル子	吉田 謙三
長田 富美子	斎藤 春雄	西野 保	保坂 夕か子	若月 政義
河西 栄子	佐藤 留子	西山 喜雄	保坂 眞寿美	渡邊 正
金子 満寿子	塩野 正	野沢 眞砂子	堀口 和彦	渡邊 幸子
川崎 富男	志村 兆美	萩原 佳子	前島 一彦	
岸本 春江	鈴木 文哉	原 繁子	前島 とし子	
日下 よし子	田中 和夫	原田 静	松井 浩男	
串田 すみ江	田辺 美枝子	樋川 澄子	松土 幸夫	
窪川 勝	寺本 熟子	樋口 藤子	丸山 則秋	
久保川 勝雄	常磐 よし子	菱山 周子	水上 清子	

(敬称略)

8020 特別賞 (夫婦表彰)

甲府市在住	岡田 守 岡田 厚子
甲府市在住	斉藤 哲三 斉藤 圭子
甲府市在住	藤本 美太 藤本 京子
山梨市在住	内藤 高明 内藤 春江



平成27年度 歯科保健文化賞 表彰

一般社団法人 山梨県歯科医師会

平成27年度「歯科保健文化賞」表彰

〈団体の部〉

認定こども園
進徳幼稚園

〈個人の部〉

遠藤 智加子

平成27年度「歯と口の健康週間」

図画・ポスター・標語コンクール

図画・ポスター・標語コンクールに多数の応募をありがとうございました。

また、このコンクールにおいて、入賞された小・中学生の皆様おめでとうございます。どれも素晴らしい力作で構成もしっかりし、表現力のある作品でした。

図画・ポスター・標語コンクールは、山梨県歯科医師会が歯と口の健康週間の一環として、県下小・中学生に口腔保健の理解と認識を深めると同時に、予防の日常化を推進するためにおこなっております。

審査は山梨県教育委員会指導主事の先生にご協力をいただいております。

表彰は、次のようになっております。

図画・ポスター（低学年）・・・2点

ポスター（高学年）・・・3点

ポスター（中学生）・・・3点

ポスター（高校生）・・・1点

標語・・・3点

合計12点が入賞されます。

また、一位入賞作品は日本学校歯科医会で行う全国コンクールへ推薦します。

今までに多数の応募ありがとうございました。

山梨県歯科医師会も8020運動を推進しておりますが、その達成には小・中学生の時期より、歯・口腔に関心を持ち、自分の健康は自分で守る知識と習慣を身につけることが大切だと考えております。

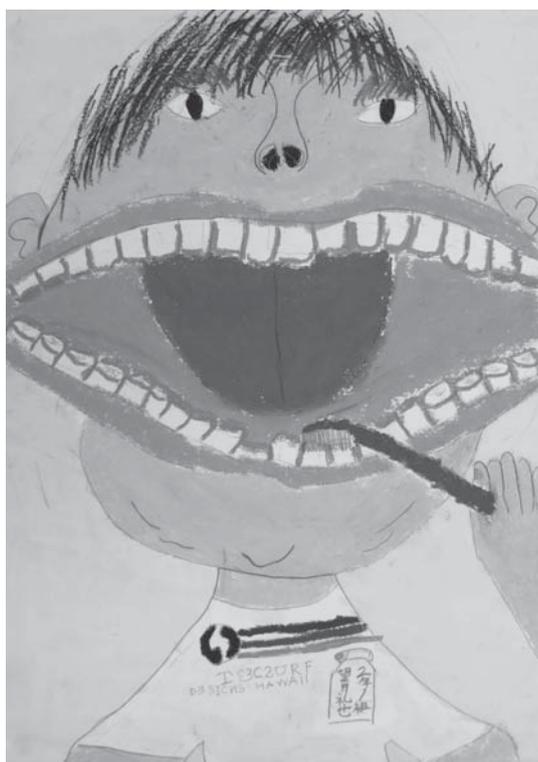
将来、高齢者よい歯のコンクールにおいて入賞できるように頑張ってください。

これからも多数の力作を期待しております。



小・中学校図画・ポスター・標語
コンクール入賞者

図画・ポスターの部
小学校1～3年



第1位

北杜市立長坂小学校2年 望月礼也



第2位

山梨県立ろう学校3年 細川 ころこ



平成27年度「歯と口の健康週間」

小・中学校図画・ポスター・標語
コンクール入賞者

ポスターの部
小学校4～6年



第1位

甲府市立北新小学校5年 小尾 直生



第2位

山梨県立ろう学校4年 野村 魁斗



第3位

北杜市立長坂小学校5年 新海 裕也



小・中学校図画・ポスター・標語
コンクール入賞者

ポスターの部
中学校



第1位

甲府市立北中学校1年 根津 真奈実



第2位

昭和町立押原中学校3年 長田 ひかり



第3位

甲府市立笛南中学校3年 安部 純子

平成27年度「歯と口の健康週間」

小・中学校図画・ポスター・標語
コンクール入賞者

ポスターの部
高校



第1位

山梨県立わかば支援学校1年

内藤 誠

小・中学校図画・ポスター・標語
コンクール入賞者

標語の部

小・中学校

第 1 位

「目標は
8020
僕7才」

市川三郷町立市川東小学校 一年 椿 岳渡

第 2 位

「これからも
一緒にいようね
永久歯」

身延町立中富中学校 三年 深沢 萌絵

第 3 位

「かがやく歯
みんなの元気が
あふれてる」

身延町立西島小学校 五年 望月 星夢

アトラクションの ご案内

go to next page ▶

○ にらさき秀麗
14:20～

アトラクション

にらさき秀麗



14時20分からステージ

山梨県韮崎市を拠点に活動している、よさこいチーム。2009年結成。

2009年3月、山梨県韮崎市において、地域の方々との交流、次世代を担う青少年の育成を目指す中で、よさこい踊り、チーム秀麗を通して、関わった全ての方に、「今を生きる力」と「光を与え輝かせたい」と、新たに立ち上げたよさこいチームです。

2011年、チーム立ち上げ3年目、新たな飛躍・希望を胸に、チーム名を、『秀麗』から、『にらさき秀麗』と改名致しました。山梨県韮崎市より、大好きなよさこい踊りを発信し、全国へ!!と、大きな目標の中で活動しています。

2015年、結成7年目、愉快的仲間達と、変わらず元気いっぱい活動しています。県内のお祭り・イベントはもちろん、長野・静岡・東京・神奈川と県外のお祭りにも積極的に参加し山梨県をアピールし続けています。

メンバーの年齢層は、小学生からお母さん方までと幅広く、様々な年代の方との交流を取りながら、親睦会も年に数回行う中で、仲間との絆づくりにも力を入れています。ご家族・お友達、様々な方と、日常を離れ、心躍る楽しい時間を一緒に持ちながら、共に体力作り・仲間作りが出来る、よさこいの魅力を最大限に引き出しながら活動しています。

2012年8月設立されたNPO法人山梨県よさこい推進連盟の所属チームとなり、2015年9月には、現役高校生・10代のメンバーを中心とした「甲州よさこい部☆鈴蘭☆」チームを生み出し、よさこいの活動を益々広げています。



☆にらさき秀麗

<http://syuurei.littlestar.jp/>

☆NPO法人山梨県よさこい推進連盟

<http://ameblo.jp/npo-yys/>

☆甲州よさこい部☆鈴蘭☆

<http://ameblo.jp/kousyuuuyosakoi-suzuran/>

●にらさき秀麗・2015年度実績

全国武田節音楽祭（信玄公祭り）

奨励賞

YOSAKOI 安曇野

金賞

東京よさこい

東松山市長賞



大会宣言（案）

我が国は超高齢社会を迎え、国民の健康とりわけ歯・口の健康に対する関心は一層高まりつつある。

歯・口の健康は、人々が生涯を通じて、健やかで心豊かな生きがいのある生活をおくるという生活の質（クオリティー・オブ・ライフ）の向上にとって必要不可欠なものである。

「8020」を達成するためには、県民一人ひとりが『自分自身の歯・口の健康は自分で守る』ことを実践するとともに、歯科保健医療関係者による、生涯を通じた歯科保健活動の一層の充実と更なる展開が望まれる。

第32回山梨県民歯科保健のつどいの開催にあたり、県民と歯科保健医療関係者がともに共通の認識の上になんて、「8020」の推進に積極的に取り組むことをここに宣言する。

平成27年11月29日

第32回山梨県民歯科保健のつどい

歯を大切に

